

続・ふるさと こぼれ話

八ッ木若狭劇場 ①

祖母井東宝が営業して
いたころ、八ッ木でも映画
の上映会が行われていた。
若狭周作さんという大
工さんが、自宅の庭に屋外
スクリーンを張り、地べた
にむしろやかますを敷い
て月2、3回映画を上映し
近所からは八ッ木若狭劇
場と呼ばれていた。

若狭さんは、父親から
「若い時に手に職をつけ
ておけ」と言われ、学校
を卒業するとすぐに東京
の溶接学校に入学した。
卒業後、溶接工として働
き始め、2年間近衛師団
に入隊後、溶接工として
陸軍省の軍需工場で働い
た。建築大工の仕事も覚
え、大工としても一人前
の仕事ができるまでに

なった。
また、映画鑑賞が趣味
で、休みの日には映画館
によく通った。
終戦後、生家のある八
ッ木に戻り、八ッ木台に
仮住まいしながら大工仕
事に励んだ。その後、弟
子職人も抱えられるよう
になり、昭和25、26年ご
ろには生家のある近くに
土地を買い、住宅と大工
の作業小屋を建てること
ができた。

若狭さんは、このころか
ら自宅前で屋外の映画上
映会を開くようになった。
上映会の2、3日前に
は、映画の宣伝に近隣の
芳志戸、上稲毛田、給部
や高根沢町の柏崎、桑久
保を歩いた。

第63回



▲当時の映画上映小屋(現在)

自転車に上映する映画
の題名を書いた旗を縛り
付け「△日に若狭劇場で
○○の映画があります。
おいでください」と大声
で叫ぶと、後ろをついて
歩く大工の弟子が、太鼓
を「ドン、ドン」とたた
いて来場を呼び掛けた。

この若狭劇場の自転車
宣伝隊の声が聞こえると、
近所の農家では映画を見
るために野良仕事の段取
りを工夫するのであった。

しまたがしの 芳賀の自然 15



編集後記

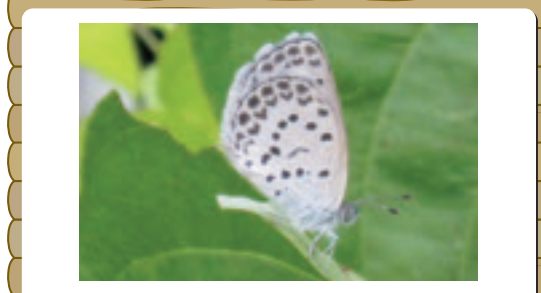
□暑い日が多くなってきましたね。いよいよ6月、衣替えの時期です。役場でも、ノーネクタイ・ポロシャツ着用がOKになります。

□ネクタイをしないと体感温度も変わるようですし、首回りも楽になります。まずは、着るもので温度調節。

□とはいえ、6月は梅雨。日によっては、コタツが恋しくもなります。気温の変化で体調を崩さないよう、皆さん気をつけましょう。



▲撮影地 東水沼



ゴイシジミ チョウ目シジミチョウ科

写真提供=芳賀町自然に親しむ会
分布=北海道~九州
生息地=タケ・ササ類の茂るやぶに発生し薄暗いところを飛び回る。
時期=5月~11月
食性=幼虫はタケ・ササに寄生するアブラムシとその分泌物。肉食性。
大きさ=開張(羽を広げた最大値)24~30mm
特性=雌雄ともに羽表面の地色は黒褐色で、裏面は白地に黒点交じり。名前はこの模様由来する。

■編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
■発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
■芳賀町ホームページアドレス
http://www.town.haga.tochigi.jp



①芳賀町の携帯サイトはコチラから➔